

事業シート（概要説明書）

事業名		英語活動支援事業		事業開始年度	平成22年度						
上位施策名		義務教育を充実する		担当局・部名	教育指導部						
根拠法令等		教育基本法、学校教育法、学習指導要領、かこがわ教育ビジョン（加古川市教育振興基本計画）、教育アクションプラン2013		担当課・係名	学校教育課						
事務区分		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	青山真二						
実施の背景		「国際共通語としての英語力向上のための5つの提言」が国から示されたことを契機に、よりいっそう、使える英語、話せる英語が求められ、ALTとのコミュニケーションを図る機会の増加や学習内容の充実が必要となっている。									
目的 (何をどうしたいのか)		ALTのネイティブ・イングリッシュに触れさせることで、異なる国や文化の人々と臆せず積極的にコミュニケーションを図る力の素地・基礎を養うとともに、発進力を高め、グローバル社会で必要となる実践的な「生きる力」を養う。									
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市内のユニット参加保育園・幼稚園・小学校・中学校・養護学校の幼児・児童・生徒		対象者数 （全住民に対する割合）							
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施									
		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理（委託先又は指定管理者：株式会社 こども英会話のミネルヴァ）									
		<input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕（補助先： 実施主体：）									
	<input type="checkbox"/> 貸付（貸付先：） <input type="checkbox"/> その他（）										
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 （箇条書き）		事業費		活動指標						
	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校28校5、6年（ALT11名）年間35時間派遣、他学年数時間派遣 ・中学校12校、養護学校1校（ALT7名）中学校年間17時間程度の期間派遣 ・養護学校10日間派遣 ・幼稚園（中学校派遣ALT）年間3回派遣 ・希望するユニット参加保育園、幼稚園年1回派遣 ・スーパーバイザー（1名）ALTの指導、学校とALTとの連絡調整 		54,406 千円		ALT派遣時間数 17249.5時間						
関連事業 (同一目的事業等)											
コスト			26年度（予算）		25年度（決算）		24年度（決算）		23年度（決算）		
	事業費合計		57,434千円		54,406千円		57,834千円		36,107千円		
	事業費内訳 (平成25年度分)		英語教育業務委託料54,406千円の全額がALT派遣にかかる費用								
	人件費	担当正職員		0.2人	1,570千円	0.2人	1,570千円	0.2人	1,570千円	0.2人	1,570千円
		臨時職員等		0人	千円	0人	千円	0人	千円	0人	千円
人件費合計		0.2人	1,570千円	0.2人	1,570千円	0.2人	1,570千円	0.2人	1,570千円		
総事業費		59,004千円		55,976千円		59,404千円		37,677千円			
財源内訳	国県支出金		0千円		0千円		0千円		0千円		
	国県支出金の内容										
	地方債		0千円		0千円		0千円		0千円		
	その他特財		0千円		0千円		0千円		0千円		
	その他特財の内容										
一般財源		59,004千円		55,976千円		59,404千円		37,677千円			
財源合計		59,004千円		55,976千円		59,404千円		37,677千円			

事業シート（概要説明書）

事業名		英語活動支援事業			事業開始年度	平成22年度		
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）			単位	H25年度	H24年度	H23年度
		学校園にALTを派遣した時間			時間	17108.5/17269	16515.5/17269	9825/17269
		保育園・幼稚園にALTを派遣した回数			回	94/100	90/100	87/100
						/	/	/
					/	/	/	
単位当たりコスト	総事業費	/	ALT派遣時間数	円	3,271	3,596	3,834	
事業成果	成果目標 （指標設定理由等）	中学校においては、ALTのネイティブ・イングリッシュに触れさせ、コミュニケーション能力の充実を図る。小学校では、ALTとの触れ合いを通して、言語や文化について体験的に理解を深め、基本的な表現を何度も使うことで慣れ親しませながらコミュニケーションの素地を養う。幼稚園は、英語に触れる機会を設ける。成果測定は、各学校に5点方式のALT満足度アンケートを実施している。さらに、今年度は外国語活動を楽しんでいる児童数のアンケート調査も実施している。						
	成果 （目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）			単位	H25年度	H24年度	H23年度
		英語活動充実度（アンケート調査）			点	4.5/5	4.7/5	4.6/5
						/	/	/
				/	/	/		
事業の自己評価 （今後の事業の方向性、課題等）	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了							
	<p>本市においては、ALTを活用した英語活動支援事業を実施するにあたり、市が独自に作成した、小学生用の「Enjoyリスト」及び中学生用の「Can-Doリスト」を用い、児童や生徒がそれぞれに学習到達度をチェックすることで、目的意識を持ってALTと接し、より大きな達成感が味わえる工夫を施しているほか、委託会社との連携を図りながら、各学校の実態に応じた授業を進めている。</p> <p>また、課外活動においても、ALTと1泊2日の野外活動を楽しむイングリッシュ・キャンプや、ALTと1対1での対話を体験するEnjoyチャレンジ、ALTと一緒にツデーマーチに参加するイングリッシュ・ウォーク等の活動を実施してきたことで、積極的にALTとコミュニケーションを図ろうとする子どもの姿を見る機会も増えている。</p> <p>さらに、幼稚園への年3回のALT派遣や、保育園児がALTと触れ合うNEG活動など、幼児期から英語に対する興味を育むための活動にも取り組んでいる。</p> <p>なお、国においては、グローバル化に対応した英語力の向上を目指すため、英語教育改革実施計画を発表し、小学校外国語活動の3年生からの実施や、5・6年生での教科化、中学校におけるオールイングリッシュでの授業の実施を打ち出しているところでもあり、当事業は、今後さらに充実が必要な事業である。</p>							
比較参考値 （他自治体での類似事業の例など）	<ul style="list-style-type: none"> ○神奈川県大和市（小学校19校、中学校9校） <ul style="list-style-type: none"> ・総事業費：34,879千円 ・外国人指導助手10名 ・派遣時間：中学校…年12時間程度、小学校…5,6年生 年35時間、他学年 年2時間程度 ○大阪府茨木市（小学校32校、中学校14校） <ul style="list-style-type: none"> ・総事業費：53,591千円 ・外国人指導助手：15人 ・派遣時間：中学校…35時間、小学校…5,6年生 年10時間程度、他学年 年3時間程度 ○大阪府八尾市（小学校29校、中学校15校） <ul style="list-style-type: none"> ・総事業費：102,985千円 ・外国人指導助手24名 ・派遣時間：中学校…年35時間程度、小学校…5,6年生 年35時間、他学年 年3時間程度 							
特記事項								

委託先シート

平成25年度

委託内容	委託先	委託金額		事業者選定方法
外国語指導助手（ALT）を市内の小中学校等に派遣し、教員と協力した効果的なチームティーチングの実施や、外国語活動等に関する教材作成、採点業務など加古川CAN-DOプランと称した独自の英語活動業務を実施することで、英語教育の充実及び国際理解教育の進展を図る。	株式会社こども英会話のミネルヴァ （現：株式会社ミネルヴァ インテリジェンス）	54,406	千円	プロポーザル方式による随意契約
			千円	
			千円	
			千円	
			千円	
			千円	
			千円	
			千円	
			千円	
			千円	
			千円	
			千円	
			千円	
			千円	
			千円	

ともに生きる こころ豊かな人づくり

教育アクションプラン2013
(ダイジェスト版)



加古川市教育委員会

<http://www.city.kakogawa.lg.jp/>

小・中学校

個に応じた学習指導の充実

35人学級 (小1~4)

基本的な学習指導や生活習慣の定着を図るために、35人学級を継続して実施します。



兵庫型教科担任制 (小5・6)

小学校における学習指導の工夫改善と、中学校への円滑な接続や学力の向上を図るため、全小学校で兵庫型教科担任制を継続して実施します。



少人数指導 (中1~3)

個に応じたきめ細やかな指導を行うための少人数指導を実施し、学習理解を深め、学習意欲の向上を図ります。



英語に慣れ親しみ、英語を楽しむ子どもの育成(かこがわCAN-DOプラン)

幼稚園~小4

ALT(外国語指導助手)とふれ合う機会を増やします。



小5・6

ALTとの年間35時間の外国語活動を実施します。



小6

小学6年生の希望者を対象に、イングリッシュ・キャンプやイングリッシュ・ウォークを実施します。



中1~3

ALTとの英語によるコミュニケーション能力の向上を目指します。



ゆたかな心の育成

環境体験事業 (小3)

校外における自然環境体験を年3回以上実施します。



自然学校 (小5)

自然環境の中での宿泊体験を4泊5日で実施します。



心の健康教育

兵庫教育大学と連携し、子どものストレスを緩和して、対処方法を学ぶ「心の健康教育プログラム」を推進します。



わくわくオーケストラ教室(中1)

専門家によるオーケストラ教室を、兵庫県立芸術文化センター(西宮市)において実施します。



トライやる・ウィーク (中2)

働くことの意義、楽しさを実感することで、社会の一員としての自覚を高めます。



サポートファイル等の活用

一人一人の子どもに即した「教育支援計画」や「サポートファイル」等を活用し、子どもの自立や社会参加を目指した支援を進めます。



校園内支援体制の充実

特別支援コーディネーターを中心とした校園内支援体制の充実を図り、子どものニーズに応じた支援を進めます。

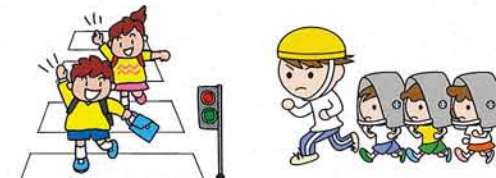


安全・防災教育の充実

危険や危機に対応できる知識と態度を培い、命の大切さや被災者の気持ちを感じられる心を育みます。



交通安全教育



地域防災訓練

活動



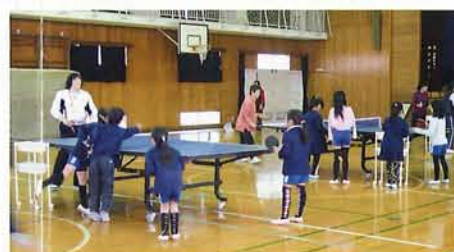
児童クラブ

すべての小学校で、合計32ヶ所の児童クラブ(学童保育)を運営し、放課後の保護に欠ける児童の健全育成を図ります。



放課後子ども教室

地域ボランティアとの交流を通して、子ども達が心豊かに育つよう、平日の放課後や休日に、小学校の体育館や公民館等を利用して、小学生に様々な体験活動の場を提供します。



少年自然の家

自然学校や各種行事において、野外活動や天体観測等の、自然体験プログラムを提供します。



■「国際共通語としての英語力向上のための5つの提言」

(文部科学省 平成23年6月：一部抜粋)

基本的な考え方

- 1 英語力の向上は、教育界のみならずすべての分野に共通する喫緊かつ重要な課題
- 2 求められる英語力
 - ・臆せず積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度
 - ・相手の意図や考えを的確に理解し、論理的に説明したり、反論・説得したりできる能力 など
- 3 新学習指導要領の着実な推進は、我が国の国民の英語力向上のための基本



提言1 生徒に求められる英語力について、その達成状況を把握・検証する。

- 国や教育委員会、学校は外部検定試験を活用し、生徒に求められる英語力の達成状況を把握・検証する。
※新学習指導要領に基づき達成される生徒の英語力は中学校卒業段階で英検3級程度以上
- 国は、学習到達目標をCAN-DOリストの形で設定することに向けて検討する。
- 学校は、学習到達目標をCAN-DOリストの形で設定・公表し、達成状況を把握する。

提言2 生徒にグローバル社会における英語の必要性について理解を促し、英語学習のモチベーション向上を図る。

提言3 ALT、ICT等の効果的な活用を通じて、生徒が英語を使う機会を増やす。

提言4 英語教員の英語力・指導力の強化や、学校・地域における戦略的な英語教育改善を図る。

提言5 グローバル社会に対応した大学入試となるよう改善を図る。

■加古川 CAN-DO プラン 英語力向上プロジェクト

CAN-DO リスト

1対1の英会話

ALTの拡充



The future belongs to those who believe in the beauty of their dreams.



加古川 CAN-DO プラン
英語力向上プロジェクト

Yes, we can!



プラス



・CAN-DO (ENJOY) チャレンジ

CAN-DO (ENJOY) リストをふまえた、加古川市オリジナル英語運用能力テストを実施する。対象は小学校6年生と中学校3年生とし、それぞれの学年で学習した内容と基本的な英語運用能力を持ち合わせているかどうかを確認する。

英語学習への意欲・関心を高めていくことを目的とし、学ぶプロセスを大事にする。合格者には Language Passport (認定証) を発行する。H24年度は試行として希望者で実施し、H25年度以降は、さらに対象児童生徒の拡大を目指す。

・イングリッシュ・キャンプ、イングリッシュ・ウォーク等の実施

英語でコミュニケーションする機会を増やすために、夏休みにALTと英語だけで過ごす1泊研修や、ALTと共にツーデーマーチにチャレンジすることも計画中。

児童・生徒の英語力向上のために

経済のグローバル化や情報化社会が急速に進展し、人材育成面での国際競争も加速していることから、学校教育において英語教育を充実することが喫緊の課題となっている。タイ・韓国・中国など、アジアの近隣諸国でも国家戦略として小学校段階から英語教育を実施する国が急速に増加しつつある。

そこで加古川市教育委員会では、新学習指導要領の全面実施、及び「国際共通語としての英語力向上のための5つの提言」が国から示されたことを契機に、子どもたちがグローバル社会において臆せず活躍できる素地を養うためのビジョンを描き、加古川CAN-DOプランとして、幼児期から中学卒業までを通じた段階的かつ総合的な取り組みを進めることとした。

平成24年4月発行 加古川市教育委員会

〒675-8501 加古川市加古川町北在家2000 電話079-427-9354 FAX079-421-4422

<http://www.city.kakogawa.lg.jp/>

加古川市教育委員会

加古川 CAN-DO プランの方向性

加古川教育ビジョン（加古川市教育振興基本計画）における新学習指導要領の推進計画に基づき、「生きる力」を育むため英語を通したコミュニケーション能力の向上を図る。具体的には小学校外国語活動・中学校英語教育でコミュニケーション能力の素地・基礎を養うとともに発信力を高め、21世紀のグローバル社会で必要となる実践的な「生きる力」を養う。そこで、以下の3つの柱を中心に取り組みを進める。



3つの柱

1 ALTの配置拡充

小学校外国語活動ではALTの配置時間を拡充（12時間→35時間）するとともに、低・中学年にも学校規模に応じて積極的に配置する。また、幼稚園も配置を拡充（年間1回→年間3回）する。中学校でもより充実した配置ができるように、ALT配置校の組み合わせを見直す。

2 CAN-DO リスト（中学校版）／ENJOY リスト（小学校版）の積極的な活用

CAN-DO リストとは、英語を使って実際に何ができるようになるか、その能力（到達目標）を記述したものである。加古川市では小学校版（5、6年生用の2つのレベルのENJOY リスト）と中学校版（1st Stage、2nd Stage、3rd Stageの3つのレベルのCAN-DO リスト）の合計5つのオリジナル・リストを作成し、積極的に活用する。到達目標を明確にすることで、学習者が英語の達成状況を把握し、モチベーションも高まる。また、指導者は評価にも活用することができる。

3 ALTとのマンツーマン（1対1）でのコミュニケーション場面の設定

小学校外国語活動では、ALTの配置拡充に伴い、1対1でコミュニケーションする機会（ENJOY トーキング）を設定する。継続して取り組むことで、臆することなく自信をもってコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。中学校においても、小学校外国語活動の成果を活かし、より実践的なコミュニケーション活動が行えるように、ALTとの対話場を増やすとともに、さらなる指導の工夫改善につなげる。



加古川 CAN-DO プランの段階的な取り組み

59

**保育園
幼稚園**

- 英語に触れる

保幼小連携

小学校

- コミュニケーション能力の を養う
- 5、6年生に週1コマの外国語活動（年間35時間）

小中連携

中学校

- コミュニケーション能力の を養う
- 授業時数 週3→週4コマ
 - 指導語彙 900語→1200語

中高連携

高等学校

- コミュニケーション能力を養う
- 科目構成を変更
 - 授業は英語を用いて行うことが基本
 - 指導語彙 1300語→1800語

保育園・幼稚園

■CD教材の配布

幼児向けの英語の歌が30曲入ったCD教材「ENGLISH SONGS for KIDS」を保育園・幼稚園に配付し、触れる機会を増やすことで、英語独特のリズムやイントネーションに慣れ親しむ。

■ALTの有効活用

保育園・幼稚園を対象に、夏休みのNEC活動を本年度も実施する。また全幼稚園を対象に、年間3回ALTを配置し、就学前の段階から、英語で歌ったり踊ったりすることで、英語に対する感覚や興味を育て、小学校外国語活動の種を蒔く。



小学校外国語活動

■ALT 配置日数の拡充

平成24年度から、英語ノートに変わる新しい外国語教材「Hi, friends!」に対応し、小学校5、6年生の外国語活動の時間をさらに充実したものにすため、各クラスにALTを年間35時間配置する。学校の実情に合わせて、低学年・中学年への配置も積極的に推進する。

■ENJOY リスト

加古川市オリジナルのENJOY リストを作成し、外国語活動のねらいを明確化するとともに、学習者が到達目標を把握し、成果を実感することにつなげる。また、指導者は評価に活かすことで、指導の効率化を図る。また、今後の課題についての検証も重ねていく。

■ENJOY トーキング

ALTを有効に活用し、コミュニケーションの場を増やすために、授業時間内にENJOY トーキングの時間を設ける。ALTと1対1で会話する機会を増やすことで、実践的なコミュニケーション能力の素地を養うことを目標とする。



中学校英語科

■小学校との連携

中学校区（ユニット）内の小学校外国語活動の実態を踏まえ、中学校1年生の入門期の指導を改善するとともに、小学校外国語活動から英語科へのスムーズな接続を促す。

■CAN-DO リストの積極的な活用

各学年で到達すべき目標を明確にすることで、学習者・指導者ともに現在の達成状況を把握することができる。日々の学習活動に沿った形で、「英語を使ってできること」を確認することにより、学習のつまづきにも対応可能である。また、学習者のための動機付けのツールとして活用することも期待される。

■生徒に求められる英語力の達成状況を把握・検証

各学校において、新学習指導要領に基づき、生徒に求められる英語力の達成状況を積極的に把握・検証する。（中学校卒業段階で英検3級程度以上）



Yes, we can!

5年生のENJOYリスト		Check			
		ME	ALT	JTE	
Lesson1	1	積極的にあいさつをしようとする。			
	2	英語でのあいさつや自分の名前の言い方になれる。			
Lesson2	3	表情やジェスチャーをつけて感情やようすを相手に伝えようとする。			
	4	コミュニケーションの大切さに気づく、世界のさまざまなジェスチャーを知り、積極的に伝えようとする。			
Lesson3	5	1～20の言い方や数のたずね方になれる。			
	6	日常生活の身近な数字を聞き取ったり、言おうとする。(電話番号、時間、年齢など) 積極的に数を数えたり、たずねたりしようとする。			
Lesson4	7	日本語と英語の音のちがいに気づく。			
	8	積極的に好きなものやきれいなものをたずねたり答えたりしようとする。			
Lesson5	9	色や形の言い方になれる。			
	10	どのようなものが好きかをたずねる表現になれる。 (色、形、動物、くだもの、スポーツなど)			
Lesson6	11	身の回りのアルファベットの表記に気づく。アルファベット(A～Z)を発音になれる。			
	12	アルファベット(A～Z大文字)を聞いて、それがどの文字かわかる。			
Lesson7	13	身の回りの語になれる。			
	14	あるものが何かをたずねたり答えたりする表現になれる。			
Lesson8	15	曜日や教科などの言い方を知る。			
	16	外国の小学生と自分たちの学校生活の同じところや違ったところについて知る。			
	17	時間割についてたずねたり答えたりする表現になれる。			
Lesson9	18	ていねいな言い方で欲しいものをたずねたり、答えたりする表現になれる。			
	19	世界のさまざまな料理を知り、相手のことを考えてていねいな言い方でほしいものをたずねたり、こたえたりする。			

観点1: 外国語を通じて、言語や文化について**体感的に理解を深める**。
 観点2: 外国語を通じて、**積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る**。
 観点3: 外国語を通じて、**外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ**。

6年生のENJOYリスト		Check			
		ME	ALT	JTE	
Lesson1	1	31～100の数の言い方を知る。			
	2	アルファベットの小文字と読み方が一致する。あるかどうかをたずねたり答えたりする表現になれる。			
Lesson2	3	月と日にちの言い方を知り、自分の誕生日の言い方になれる。			
	4	誕生日のたずね方や答え方になれる。			
Lesson3	5	「できる」「できない」や動作を表す表現を知る。			
	6	「できること」「できないこと」をたずねたり答えたりする表現を知る。			
	7	自分ができることを考え、友達と積極的に交流しようとする。			
Lesson4	8	街中にある様々な建物などの言い方に興味を持ち、理解しようとする。			
	9	方向や動きを指示する表現を聞いて理解する。英語を使って相手に目的地を伝える。			
Lesson5	10	世界では、様々な人々が様々な生活をしていることを知り、世界に興味を持つ。			
	11	行きたい国をたずねたり、答えたりする表現になれる。			
	12	相手にはっきりと伝わるように自分の行きたい国とその理由を伝えようとする。			
Lesson6	13	生活や動作を表す表現や、時刻の言い方、たずね方を知る。			
	14	一日の生活についての時刻を表す表現に慣れ親しみ、時差があることを知る。			
	15	相手に伝わるように自分の生活を紹介しようとする。			
Lesson7	16	物語の筋がわかり、様子をたずねたり答えたり、行動をうながす表現になれる。			
	17	積極的に英語を使って、考えた物語の筋を伝えたり聞こうとしたりする。			
Lesson8	18	様々な職業の言い方を知り、職業を表す語の日本語と英語の共通点に気づく。			
	19	将来就きたい職業について、たずねたり答えたりする。			
	20	お互いの夢について伝えようとする。			

観点1: 外国語を通じて、言語や文化について**体感的に理解を深める**。
 観点2: 外国語を通じて、**積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る**。
 観点3: 外国語を通じて、**外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ**。

1st Stage (中学校1年生)					
PROGRAM	CAN-DO LIST	POINT			
		聞く	話す	読む	書く
Let's Start	積極的に自己紹介をしたり相手の自己紹介を聞いたりしようとしている。	○	○		
	身近な単語を正しく発音することができる。		○		
	身近な単語を聞いて、何を表わすかがわかる。	○			
1	アルファベット(A~Z)を発音することができる。		○		
	アルファベット(A~Z)を読むことができる。			○	
	アルファベットの大文字・小文字がわかる。(Aとa / Fとfなど)			○	
	アルファベット(A~Z)を聞いて、どの文字かを理解することができる。(人の名前をつぶりなど)			○	
Classroom English	自分自身の名前を書くことができる。				○
	指示通りの動作をすることができる。	○			
2	英和辞書をひいて目的の語を見つけることができる。			○	
	日常的なあいさつを理解することができる。(例:How are you? / Nice to meet you.)	○	○		
Writing 1	be動詞の用法を正しく使い、たずねられた事に対して適切に回答する事ができる。	○	○		
	4線紙に単語・単文を正しく書くことができる。				○
Word Web 1	アルファベット・符号や初歩的な単語を書くことができる。				○
	日常生活の身近な数字を聞き取ることができる。(年齢、電話番号、値段、年など)	○	○		
3	一般動詞の用法を正しく理解し、書くことができる。				○
	自分の好きなことや普段行う事について回答する。	○	○		
アクションタイム全員集合	一般動詞を理解し、言われた動作をすることができる。	○	○		
	活動に対して積極的に取り組んでいる。	○	○		
Word Web 2	曜日を読み取ることができる。	○			
	曜日・天気をたずねることができる。		○		
Listening 1	対話を聞いて、その内容を捉え質問に正しく答えることができる。	○	○		
	つづり字と発音の関係を見て、発音の違いを感じる。	○	○		
4	Whatの用法を正しく理解し、疑問文として相手にたずねることができる。	○	○		
	たずねられたことに適切に答えることができる。	○	○		
	単語を複数形にし、2人(2つ)以上の表現を理解している。			○	
	数を聞く表現を理解し、運用することができる。			○	
My Project 1	一般動詞、be動詞を正しく使い、スピーチとして自己紹介ができる。		○		○
	命令表現を理解することができる。			○	
Reading 1	相手の指示を正しく理解し、適切に回答できる。	○			
	be動詞の用法を正しく使い、たずねられた事に対して適切に回答する事ができる。	○	○		
5	物の位置を正しく聞き取ることができる。	○	○		
	代名詞(he / she)を使い、家族を紹介することができる。	○	○		
Speaking 1	時刻をたずねる表現を正しく見につけ、運用することができる。	○	○		
	語順やつづりを正確に覚えている。			○	○
英語のしくみ1	単語を複数形にすることができる。			○	○
	肯定文、疑問文、否定文における3人称単数現在の(e)sを理解している。			○	
6	第三者についての質問に対して回答することができる。		○		
	月の名前と順番を表す言い方を知り、対話することができる。	○	○		
7	疑問詞(who,when)で始まる文でたずねたり、答えたりできる。	○	○		
	正しく、代名詞の格を用いることができる。				○
Speaking 2	疑問詞(which,whose)で始まる文にたずねたり、答えたりできる。	○	○		
	出てきた語句に対して正しいリズムやイントネーションで発音することができる。		○		
Listening 2	まとまりのある英文を聞いて、要点を理解している。			○	
	音のつながりに注意して正しく発音している。		○		
英語のしくみ2	英語の人称や代名詞の格変化について理解している。			○	○
	canを用いて、自分のできることを表現できる。		○		
8	canを用いて、相手にできることをたずねたり、答えたりできる。	○	○		
	会話文の内容を正しく読み取ることができる。				○
	依頼する、許可を求める定型表現を正しく理解し、運用している。	○	○		
My Project 2	文章をまとめ、スピーチとして人を紹介することができる。	○	○	○	○
	現在進行形の表現を理解し、運用することができる。	○	○		
9	電話での簡単な回答をすることができる。	○	○		
	辞書を使って積極的に書くことができる。			○	○
英語のしくみ3	まとまりのある英文を聞いて、要点を理解している。	○			
	過去時制の表現を正しく理解し、運用することができる。		○		○
10	(Why~? / Because~)の応答表現を理解し、文章を書くことができる。				○
	買い物で用いる定型表現を覚え、それを運用することができる。	○	○		
Speaking 4	積極的に活動に取り組もうとしている。	○	○		
	まとまりのある対話文を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ることができる。	○			
Listening 3	疑問詞を使って質問したり、質問に答えることができる。	○	○		
	相手の言っていることを正しく理解することができる。	○			
My Project 3	不規則動詞の過去時制の表現を身につけている。	○	○	○	○
	文章を読み取り、大切な情報を落とさずに話す。		○	○	
11	既習事項を用いてまとまりのある文章を書くことができる。				○
	規則動詞・不規則動詞の文の構造を理解し、まとまりのある文章を書くことができる。				○
英語のしくみ4	聞き手を意識して、強調して話すことができる。		○		

2nd Stage (中学校2年生)					
PROGRAM	CAN-DO LIST	POINT			
		聞く	話す	読む	書く
Classroom English	授業で用いられる英語表現を理解する。 英和辞書を引いて、単語の意味や例文を調べ、正しく文章を書くことができる。	○	○		○
1	一般動詞の過去形を用いて会話ができる。 be動詞の過去形を用いて会話ができる。 過去の体験についての自分の考えを正しく書くことができる。	○	○		○
Writing 1	過去について書かれたまとまりのある英語を読んで概要を理解できる。 自分の日記を英文で書くことができる。			○	○
英語のしくみ 1	過去形を用いて場面を英文で書くことができる。 イントネーション、音変化、区切りを理解している。	○			○
2	未来の予定や意志をあらわす表現を正しく使い、相手に伝えようとしている。 未来の予定を正しく書く。 Show & Tellとして、自分の旅行計画を発表することができる。		○		○
Listening 1	天気予報を聞いて、情報を正しく聞き取ることができる。 聞き取った天気予報をもとに、自分の考えを言い合えることができる。	○	○		○
Speaking 1	場面に応じた読み方ができている。 質問や依頼に対して適切に応じている。	○	○	○	
3	義務や禁止を表す表現を理解している。 自分の考えを正しく伝えている。	○	○		○
Speaking 2	誘うとき、依頼するとき、約束するときの表現を正しく身につけている。 質問や依頼に適切に応じている。	○	○		○
My Project 4	既習事項を用いて積極的に対話を発展させることができる。	○	○		○
英語のしくみ 2	未来表現、接続詞を用いて自分の予定や考えを正しく書く。 自分の予定をスピーチとして発表することができる。		○		○
4	まとまりのある文章を聞いて、あらすじや要点を読み取ることができる。 書かれている内容が表現されるように読むことができる。 感想文を英文で書くことができる。		○	○	○
5	There is / are ~ の表現を理解している。 時や条件を表す表現の用法を正しく理解している。 身近な観光地についての紹介文を書くことができる。	○	○	○	○
Speaking 3	買い物で用いる定型表現を覚え、それを運用することができる。 買い物の注文の場面に応じた読み方ができる。	○	○	○	
6	<to + 動詞の原形>の用法を理解し自分の考えを正しく伝えることができる。 相手の言っていることを正しく理解し、適切に応じることができる。 <to + 動詞の原形>の表現を使い、自分の夢についての英作文を書くことができる	○	○		○
Listening 2	積極的に対話に取り組もうとしている。 インタビューで聞いたことを英語でまとめることができる。	○	○		○
Writing 2	電子メールのあらすじや大切な部分を正確に読み取ることができる。 自己紹介や相手への質問を電子メールを想定して英語で作成することができる。			○	○
7	動名詞を用いて、人の行動を説明することができる。 SVC文型を用いて、人や物の様子や状態について言うことができる。 SVOO文型を正しく身につけ、だれかに何をあたえるということを理解している。	○	○		○
Speaking 4	道案内で用いる定型表現を正しく身につけ、運用することができる。 場面に応じた読み方ができる。 道案内の場面での質問に適切に答えることができる。	○	○	○	
Challenge 1	まとまった文章を読解することができる。			○	
My Project 5	既習事項を用いて、自分の夢をスピーチとして表現する。 自分の夢について構成を考え、まとまった文章を書く。		○	○	○
英語のしくみ 3	There is / are ~、接続詞、不定詞、動名詞、SVC文型、SVOO文型の文構造を理解している。			○	
8	まとまりのある文章を読んで、あらすじや内容を理解している。 読んだことについて話して表現できている。 物語についての感想文を英文で書くことができる。		○	○	○
9	形容詞の比較級や最上級、言及を用いた比較表現を正しく用いて、運用することができる。 物語についての感想を含めた本への手紙を英文で書くことができる。	○	○		○
Challenge 2	比較表現を用いて書かれてある問題を読み、説明することができる。 語順をまちがえずに、正しく文を書くことができる。			○	○
Speaking 5	買い物で用いる定型表現を覚え、それを運用することができる。 買い物の注文の場面に応じた読み方ができる。	○	○	○	○
10	形容詞や副詞の比較級や最上級、原級を用いた比較表現を理解している。 スピーチを聞いて、概要や要点を適切に聞き取ることができる。	○	○		○
Writing 3	自分の考えを接続詞や副詞を用いて書くことができる。 積極的に意見の交換をしようとしている。	○	○		○
11	受け身の文の構造を理解している。 受け身の用法を使い、まとまりのある文章を書くことができる。 書いた内容を元に、Show & Tell の方式で発表することができる。	○	○	○	○
Listening 3	まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞きとることができる。 与えられた主題において、意見交換をすることができる。	○	○		○
My Project 6	比較変化、受け身などの文構造について理解している。 ものを描写する英語の文章を書くことができる。			○	○
12	まとまりのある文章を読んで、内容を理解する。 読んだことをもとに、主人公の心情を適切に表現して書くことができる。			○	○

3rd Stage (中学校3年生)

PROGRAM	CAN-DO LIST	POINT			
		聞く	話す	読む	書く
Classroom English	授業で用いられる英語表現を理解する。 辞書を使って句動詞を調べ、連語を用いた表現を理解し、短い文章を正しく読むことができる。	○	○		○
1	受け身(過去)の表現を理解し、運用することができる。 「完了」を表す現在完了の肯定文を書くことができる。 「完了」を表す現在完了の疑問文・否定文を書くことができる。	○	○		○
Speaking 1	飛行機内で用いる定型表現を正しく身につけている。 質問に対して、適切に応答することができる。	○	○		
2	「継続」を表す現在完了の文章を書くことができる。 「経験」を表す現在完了の文章を書くことができる。 観光名所について短文を書くことができる。				○
Speaking 2	レストランで用いる定型表現を正しく身につけて、運用することができる。 現在完了の表現を用いて、スキットを作成することができる。	○	○		○
英語のしくみ 1	現在・過去・未来の表現/現在完了の文構造について理解している。				○
3	It is ~ (for + 人) to.../know how to ~/ask ~ to ...の用法を理解している。 物品の使用方法についての文章を読みわかったことを1文で表すことができる。	○	○	○	
Challenge 1	料理の手順を説明する表現を理解することができる。				○
Speaking 3	電車での目的地までの行き方をたずねたり伝えたりする表現を身につけている。	○	○		
Listening 1	まとまりのある英文を聞いて、インタビューの用紙や概要を正しく聞き取ることができる。 インタビューの内容を読んで、概要を理解することができる。	○			○
My Project 7	インタビューの内容を聞いて、概要を聞き取ることができる。 質問内容を整理して、インタビュースキットを作成することができる。	○			○
英語のしくみ 2	It is ~ (for + 人) to.../know how to ~/ask ~ to ...の用法を理解している。				○
4	まとまりのある英文を、物語の展開を理解しながら読むことができる。 読んだ事について要点を整理することができる。 物語について感想文を書くことができる。			○	○
Writing 1	例文メールを見て、内容を理解することができる。 自分の要求が正しく伝わるように、内容を整理して英文を書くことができる。			○	○
5	<主語+動詞+目的語+補語>で表される表現や間接疑問の用法を身につけている。 <make A+B>を用いて、短文を書くことができる。 間接疑問を用いて正しい語順で質問する文を書くことができる。	○	○	○	
Speaking 4	電話で用いる定型表現を正しく見につけて、運用することができる。 相手をみずに相手の話す情報を聞き取ることができる。 要点を整理し、正しく伝言メモを書くことができる。	○	○		○
6	後置修飾の用法を使って、日本独自のものを説明することができる。 スピーチの内容が伝わるように文章をスムーズに読むことができる。		○		○
Challenge 2	まとまりのある文章を聞き、内容を理解することができる。				○
英語のしくみ 3	<主語+動詞+目的語+補語>/後置修飾などの文構造を理解している。				○
My Project 8	スピーチ原稿を読んで、概要や文章構成を理解することができる。 文章構成を考えてスピーチ原稿を書くことができる。 身近な行事や祭りについてスピーチを作り、発表することができる。			○	○
7	関係代名詞(主格)の表現を正しく身につけている。 関係代名詞(主格)を使い、人物について正しく伝えることができる。	○	○		○
Speaking 5	買い物で用いる定型表現を正しく身につけている。 場面に応じた読み方ができるように音読できる。 質問に対して、適切に応答することができる。	○	○		
8	関係代名詞(目的格)の表現を正しく身につけている。 宝物について説明する文を正しく書くことができる。 関係代名詞を用いてセールスポイントを正しく書くことができる。	○	○		○
Writing 2	まとまりのある英文を読んで、内容を理解することができる。 まとまりのある英文を書いて表現することができる。			○	○
Listening 2	(駅や空港)でのアナウンスを聞いて、要旨を正しく聞き取ることができる。	○			
英語のしくみ 4	関係代名詞(主格・目的格・省略)の文構造を理解している。				○
9	物語の概要やあらすじを正しく理解している。 読んだ事について感想文を書くことができる。 多くの偉人についての情報を積極的に得ようとしている。			○	○
Listening 3	説明文の内容を聞いて、概要を理解することができる。	○			
My Project 9	スピーチ原稿の内容とその書き方を理解している。 文章構成を考えてスピーチ原稿を書くことができる。 内容が正しく伝わるように発表することができる。			○	○
10	物語の概要やあらすじを正しく理解している。 読んだことについて要点を整理して書くことができる。 心情を読み取り、文章で正しく表現することができる。			○	○

グローバル化に対応した英語教育改革実施計画

初等中等教育段階からグローバル化に対応した教育環境づくりを進めるため、小学校における英語教育の拡充強化、中・高等学校における英語教育の高度化など、小・中・高等学校を通じた英語教育全体の抜本的充実を図る。

2020年(平成32年)の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、新たな英語教育が本格展開できるように、本計画に基づき体制整備等を含め2014年度から逐次改革を推進する。

1. グローバル化に対応した新たな英語教育の在り方

○小学校中学年：活動型・週1～2コマ程度

- ・コミュニケーション能力の素地を養う
- ・学級担任を中心に指導

○小学校高学年：教科型・週3コマ程度

(「モジュール授業」も活用)

- ・初歩的な英語の運用能力を養う
- ・英語指導力を備えた学級担任に加えて専科教員の積極的活用

※小・中・高を通じて一貫した学習到達目標を設定することにより、英語によるコミュニケーション能力を確実に養う

※日本人としてのアイデンティティに関する教育の充実(伝統文化・歴史の重視等)

○中学校

- ・身近な話題についての理解や簡単な情報交換、表現ができる能力を養う
- ・授業を英語で行うことを基本とする

○高等学校

- ・幅広い話題について抽象的な内容を理解できる、英語話者とある程度流暢にやりとりができる能力を養う
- ・授業を英語で行うとともに、言語活動を高度化(発表、討論、交渉等)

2. 新たな英語教育の在り方実現のための体制整備(平成26年度から強力に推進)

○小学校における指導体制強化

- ・小学校英語教育推進リーダーの加配措置・養成研修
- ・専科教員の指導力向上
- ・小学校学級担任の英語指導力向上
- ・研修用映像教材等の開発・提供
- ・教員養成課程・採用の改善充実

○中・高等学校における指導体制強化

- ・中・高等学校英語教育推進リーダーの養成
- ・中・高等学校英語科教員の指導力向上
- ・外部検定試験を活用し、県等ごとの教員の英語力の達成状況を定期的に検証
- ※全ての英語科教員について、英検準1級、TOEFL iBT 80点程度等以上の英語力を確保

○外部人材の活用促進

- ・外国語指導助手(ALT)の配置拡大、地域人材等の活用促進(ガイドラインの策定等)
- ・ALT等向けの研修強化・充実

○指導用教材の開発

- ・先行実施のための教材整備
- ・モジュール指導用ICT教材の開発・整備

小・中・高の各段階を通じて英語教育を充実し、生徒の英語力を向上(高校卒業段階で英検2級～準1級、TOEFL iBT57点程度以上等)

→外部検定試験を活用して生徒の英語力を検証するとともに、大学入試においても4技能を測定可能な英検、TOEFL等の資格・検定試験等の活用の普及・拡大

3. スケジュール(イメージ)

- 2014年1月頃 有識者会議設置
- 2014～2018年度 指導体制の整備、英語教育強化地域拠点事業・教育課程特例校による先取り実施の拡大
- 中央教育審議会での検討を経て学習指導要領を改訂し、2018年度から段階的に先行実施
- 東京オリンピック・パラリンピック開催に合わせて2020年度から全面实施